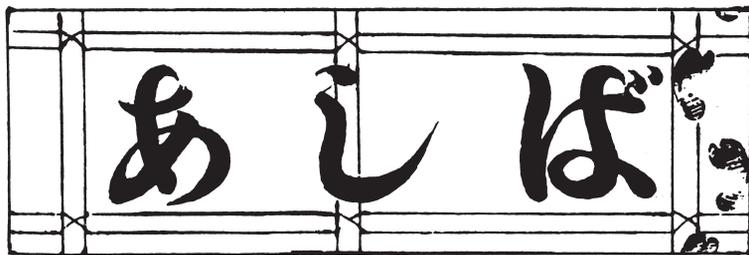


以下の日程は組合事務所の閉所日
となります。ご迷惑おかけしますが、
ご協力をお願いします

3月2日(月) 書記局会議
13日(金) 3.13重税反対行動

確定申告の準備お済みですか



第555号

発行所
東京土建一般労働組合
小金井国分寺支部
国分寺市東恋ヶ窪 2-36-32
電話 042-324-5940
発行責任者
中川和美
パスワード doken5940



2026 旗びらき 新春から大笑い

仲間に寄り添い対話する1年に

2026年新春「旗びらき」を1月16日(金)、武蔵小金井駅近郊の宮地楽器ホール・小ホールで全体77人(支部参加54人、来賓23人)の参加で開催しました。冒頭、南執行委員長から「昨今の危険な状況の中、情勢は私たちの運動で動いている。仲間と対話し寄り添って運動する」と力強いあいさつがありました。

参加者、来賓とも終始笑いに包まれ 一体感のある素晴らしい旗びらき

その後、来賓のみならずからあいさつをいただき、鏡びらき、乾杯へと進みました。しばらく歓談の後、毎年恒例のイベントへと進みました。今年のメインは、〇×ゲーム。

1月。2025年度のとりくみを振り返り、組合員、家族に関わる問題を写真や映像を見ながら、1テーブル、1チームで回答してもらった。大いに笑い盛りになりました。最後に鯉淵副委員長の団結カンパニーでお開きとなりました。



子供も登場しての鏡びらき「よいしょー」



なんか変な体制の人が二人(笑)



支部三役のみなさんもチャレンジ

第58回支部定期大会告示

東京土建一般労働組合小金井国分寺支部第58回定期大会を組合規約第二十条にもとづき招集します。代議員選出の基準および定数は次のとおりです。

記

- 一、日時 二〇二六年四月一二日(日)
- 二、会場 国分寺市立本多公民館 大ホール
- 三、代議員 (A)と(B)で構成する。
 - (A) 二月一日付分会組織人員四〇人に一人(端数は二〇人以上は一人を追加し、一九人以下は切り捨てます)+基礎代議員三人
 - (B) 支部執行委員及び支部執行委員待遇(三三人)、会計監査(二人)

※特別代議員は各分会、青年部、主婦の会、長楽の会から各一人

支部執行委員長 南 哲司

春一番の仲間増やし



仲間集め対話しよう

支部の2026年1月組組織人員は、1193人(昨年1201人)でスタートしました。昨年中は、支部と分会を良くするため、基礎組織である群会議の開催と仲間の結集について議論し、組織の活性化を図ってきました。分会役員のみならず、組合員、

未だ続く物価高騰に対して、仲間の賃金は引きあがっておらず、仕事や暮らしに大きな影響が出ています。東京土建は、仲間が団結

し、助け合い、それぞれの要求を実現していくための組合です。仲間が集まれば集まるほど大きな力となり、要求実現の確かな保証です。さらに、毎月の群会議により多くの仲間を集めることが重要です。そうした機会を最大限に活かす、まずはその仲間が困っていないか、身の回りに困っている未加入の仲間がいないか対話を進めましょう。

朝顔
▼九段下の金色に輝く大きな玉ねぎの下で、50年のキャリアを祝う「マイケルシエンカー」凱旋公演「MY YEARS WITH UFO」が始まった▼「誰ですか?」こちらステージ真横の2階スナイパー席、顔が見えない。ロン毛金髪、10cmはありそうなヒールブーツ、ミリタリーっぽい意匠のレーザージャケットのコスパで、ギターはホワイトのフライングV。マーシャルアンプの壁に、今回ギターにはワイヤレスではなく、長いシールド(有線)を使っている。アイコニックなギターソロとリフで確信にちかづいていく▼第一声は「ダンクセッション!」本物だ。UFO縛りの100分。当時の再現を日本のファンに見せてくれたんだ。38年ぶりの日本武道館公演。「ありがとう」▼昨年2月ROCK CITYでのトークショーに行く機会があった。「定番の前屈みのスタイルは?」「ギターアンプとモニターの間にいちばん音の良い場所、好きな音が出る場所があるので探していただけたさ」ここだけの話「いちばんのモチベーションは?」「自分を表現すること」「僕はみんなの笑顔のためにプレイするから。それが報酬なんだ」▼ロック音楽は楽しんで聴ける場合ストレス解消や活力向上に寄与するそう。71歳現役。唯一無二の存在。やはり彼は神なのか。

誰もが納得できる賃金を 今が請求・要求のチャンス

— 国も建設産業を後押し —

【賃金対策部発】建設従事者の皆さんの団結で国に認めさせた、第三次担い手3法が12月12日から施行されています。建設Gメンが調査を始めて1143件、許可取消・営業停止などが報告されています。

すでにアンケートや群会議の報告の中で、「増額した見積書を計上したら認められた」「見積り増額の理由を求められ、物価高騰と賃上げ・建設Gメンの話をしたら納得してくれた」など、賃上げの流れが徐々に浸透していますが、「現場が落ち着くと元の単価に戻る」「口頭での一方的な

契約」「請求書上げつらい」などの報告も聞かれています。今まで何十年もこの形でやってきて変わる訳がない、人件費・材料費の価格高騰を請求に載せづらいため、今回の改正で是正するよう認められている部分を①「労務費に関する基準ポータルサイト」を参考に、②「賃金・単価引き上げ勝ち取る」動画(視聴はQRコードから)を見て実践し、賃上げ・労働条件向上の流れを止めることなく、建設業全体が生活できる賃金・単価をめざし、誰もが声を上げることができ「ザワザワ運動」を継続



請求要求運動 QR

前原

46人の組合員・家族で交流

初めての仲間も多数参加



仲間同士の強いきずなが感じられる良い雰囲気の新年会

【前原分会・島中 隆行】1月24日(出)、「炭火焼鳥ツン」で前原町分会の新年会を行いました。

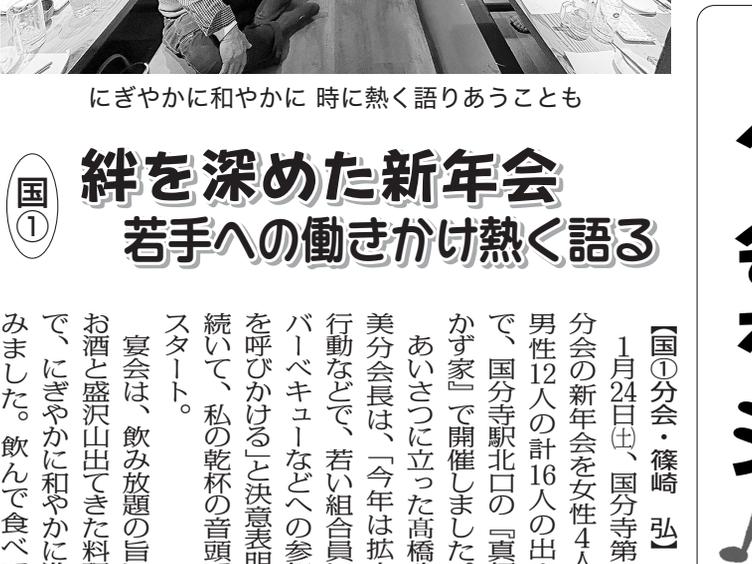
コロナ禍を経て、久しぶりに行ないましたが、私の仕事仲間の4群の本田泰祐さんや、後継者イベントなど家族ぐるみで大活躍中の3群の野崎将太さん、そして、1群所属の谷嶋厚司さんが会社の従業員のみならず初参加してくれました。

冒頭に、私から「今日は組合の話は抜きで、楽しく交流しましょう」とあいさつしましたが、そこで笑いのたえない楽しい時間となりました。

締めは、副会長長の菅麻さんで「大勢集まってくれて良かった。熱

が冷めないうちにイベントを行なうので参加ください」とあいさつがあり、お開きとなりました。

今回は当初の参加よりは少なかったものの、46人の組合員・家族が集まり、大変にぎやかに和気あいあいとした新年会となりました。



にぎやかに和やかに 時に熱く語りあうことも

絆を深めた新年会 若手への働きかけ熱く語る

【国①分会・篠崎 弘】1月24日(出)、国分寺第一分会の新年会を女性4人、男性12人の計16人の出席で、国分寺駅北口の「真打ち家」で開催しました。

あいさつに立った高橋功美分会長は、「今年は拡大行動などで、若い組合員にバーベキューなどへの参加を呼びかける」と決意表明。続いて、私の乾杯の音頭でスタート。

宴会は、飲み放題の旨いお酒と盛り山出てきた料理で、にぎやかに和やかに進みました。飲んで食べて

「これから若い組合員に、新年会や拡大など活動に参加してもらうにはどうすればよいか」と議論があり、楽しく大いに盛り上がりまりました。

最後に高橋勇一副分会長の一本締めでお開きとなりました。

絆を深めた楽しい新年会でした。

12月24日に東京3陣は東京地裁で和解案が示されました。和解案は、東京1陣・2陣の流れを引き継ぎつつ、前進した点と受け入れたい点があります。これを受け、首都圏建設アスベスト訴訟統一本部は次のとおり声明(要約)を出しました。

和解対象の被災者105名のうち被告4社(被告A&A M、ニチアス、ノザワ及びMMK)の不法行為責任を認めたもので、被災者8名を救済しなかったものの、和解対象の91.5%の被災者を救済した点、また1975年以前の石綿じん作業歴のある被災者について賠償金額を認めなかった点などで一定の評価ができる。他方、屋外作業性については被告らに予見可能性がないとした点、改修解体作業員に対して被告らは注意義務を負わなかった点、誤った最高裁判決の踏襲であり、不当な判断である。また、石綿関連疾患の主要なばく露建材である石綿吹付け材

を製造販売した太平洋セメントなどの責任を否定したこと、は極めて不当である。特に、石綿含有吹付けロックウールについては東京・大阪の高裁で太平洋セメントの責任を認められたにもかかわらず、東京地裁がこれを否定したことは到底受け入れられない。

また、本日、東京地方裁判所に東京5陣訴訟を新たに提訴した(原告47名「被災者38名」、被告建材メーカー38社)このままでは今後、発生する多数の被害者も、建材メーカーから賠償を受けるには訴訟提起せざるをえない現状にある。国については、裁判所ことなく給付金が支給されている。そこで、被害者が訴訟提起をすることなく、建材メーカーから賠償金を受け取れる建設アスベスト給付金法の改正が強く求められている。

われわれは建材メーカーの責任を裁判上、明確にし、建設アスベスト給付金の改正のため、今後も訴訟と運動の取り組みを強める所存である。

小西

飲食ボリウムに大満足

若手参加で今後に期待



田中さんもご夫婦で参加 奥さんは女性の会アピール

【小西分会・村田 文志】22日(内)、国分寺のピーナツ小金井西部分会は、1月ツハウスで新年会を行ないました。

長楽の会で忘年会を行なった会場

で、分会地域からは近いところあります。午後7時、森谷分会長のあいさつで新年会

を開始。今後の拡大行動や署名運動などの協力を呼びかけました。

参加者は11人でそのうち

主婦の方が3人です。7群の田中清貴さんも奥さんの陽子さんと参加してくれ、陽子さんからは女性の会の様子などが話されました。

また、昨年12月に他分会から森谷分会長のいる4群に移動した吉澤敏徳さんも

お店の飲食もボリウムがあり、皆さん満足して家に帰られたことと思います。

初めて参加してくれました。今後は、奥さんやお子さんも参加していただこうです。

世の中が変わってきている中、揚げ足を取ったり足を引っ張ったり、ああい言え、ばーい言うじゃなく、もっとスマートに安定したリズムとグループでひたひたにならばいいのにね。

楽しく語りあう #分会交流月



音楽はみんなを笑顔に 安定したリズムとグループ感を

【小①分会 鴨下 典正】消費税「減税 減税 減税」と言っけど、これだけ物価が高騰しているのに減税して

も前のようには戻らない。じゃあ賃金が上がるればいいのか、でも上がらない。

寒い選挙、口を揃えて減税と歌いだす。でも10

この前、高市さんがドラムを叩いているのを見てオーおやるね高市。音楽はみんなを笑顔にしています。

たリズムとグループでひたひたにならばいいのにね。

建設アスベスト訴訟東京3陣の 和解案提示・東京5陣提訴

12月24日に東京3陣は東京地裁で和解案が示されました。和解案は、東京1陣・2陣の流れを引き継ぎつつ、前進した点と受け入れたい点があります。これを受け、首都圏建設アスベスト訴訟統一本部は次のとおり声明(要約)を出しました。

和解対象の被災者105名のうち被告4社(被告A&A M、ニチアス、ノザワ及びMMK)の不法行為責任を認めたもので、被災者8名を救済しなかったものの、和解対象の91.5%の被災者を救済した点、また1975年以前の石綿じん作業歴のある被災者について賠償金額を認めなかった点などで一定の評価ができる。他方、屋外作業性については被告らに予見可能性がないとした点、改修解体作業員に対して被告らは注意義務を負わなかった点、誤った最高裁判決の踏襲であり、不当な判断である。また、石綿関連疾患の主要なばく露建材である石綿吹付け材

を製造販売した太平洋セメントなどの責任を否定したこと、は極めて不当である。特に、石綿含有吹付けロックウールについては東京・大阪の高裁で太平洋セメントの責任を認められたにもかかわらず、東京地裁がこれを否定したことは到底受け入れられない。

また、本日、東京地方裁判所に東京5陣訴訟を新たに提訴した(原告47名「被災者38名」、被告建材メーカー38社)このままでは今後、発生する多数の被害者も、建材メーカーから賠償を受けるには訴訟提起せざるをえない現状にある。国については、裁判所ことなく給付金が支給されている。そこで、被害者が訴訟提起をすることなく、建材メーカーから賠償金を受け取れる建設アスベスト給付金法の改正が強く求められている。

われわれは建材メーカーの責任を裁判上、明確にし、建設アスベスト給付金の改正のため、今後も訴訟と運動の取り組みを強める所存である。